

114号



令和四年度 嵯峨助け合い寒風托鉢

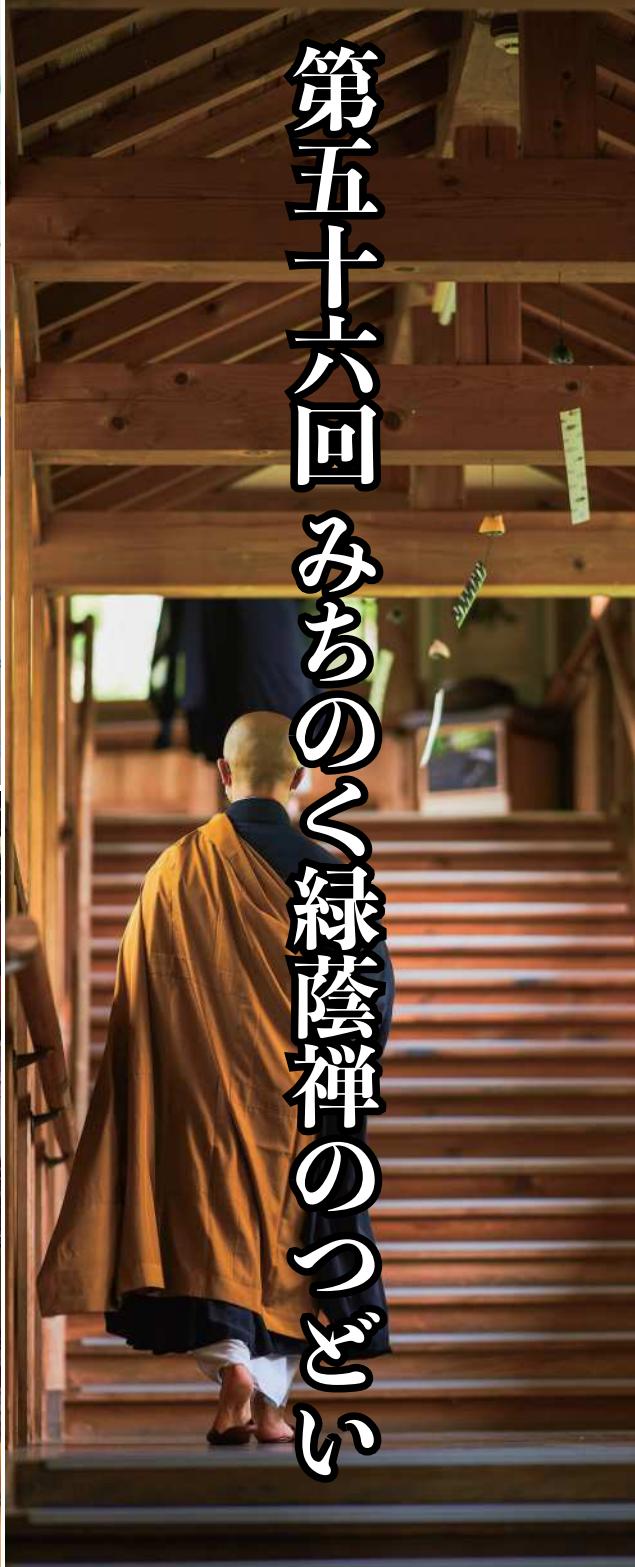
於 遠野市 大慈寺



・遠野市社会福祉協議会様へ寄付する日向副会長。

野市大慈寺様を会場に、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となっていた歲末助け合い寒風托鉢が三年ぶりに開催され、二十八名の会員の参加をいただき、無事修行することができました。当日は晴天に恵まれ、気分も晴れやかな中での托鉢となり、肌寒いはずの師走の風も、一步一歩と歩みを進めるうちに、心地よい涼風となりました。三年ぶりとなつた歲末助け合い寒風托鉢ですが、多くの方々より、沢山の淨財を喜捨頂きました。頂きました淨財は遠野市社会福祉協議会様へ、歲末たすけあい募金として寄付させていただきまし

第五十六回 みちのく緑蔭禅のつどい



・令和四年七月十九日（火）、第五十六回みちのく緑蔭禅のつどいが水沢正法寺様にて開催され、三十四名の岩曹青会員が参加しました。

昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大を受け、本年も参禅者の受け入れや宿泊・法要は行わず、岩曹青会員のみでの参禅会という形で行われました。今年も正法寺様のご配慮のもと、法堂を会場としてお借りして、参加者は一畳ごとの間隔をとり、マスクを着用等のコロナ対策を行った上での参禅修行となりました。

第一回 教養セミナー



講師 盛田正孝老師

『兩祖の思い～伝光録から学ぶ～』

・令和四年七月十九日（火）、水沢正法寺様を会場に正法寺山主盛田正孝老師を講師としてお迎えして、令和四年度第一回教養セミナーが開催されました。老師には『兩祖の思い～伝光録から学ぶ～』と題して、兩祖様の思い、その教えを伝光録を紐解きながら御講義いただきました。

最高気温が二十九度にものぼり、外ではけたたましい蝉の鳴き声が響く中、法堂は心無しか涼しく、兩祖様の思いについて切々と語る老師の御声と、それに耳を傾け、書き留める青年僧侶の持つペン先が机を叩く音だけが静かに響いていました。

老師は、宗教というのは必ずその教えを広め、その教えによって人が救われていかなければ宗教ではないとおっしゃいました。仏教誕生の地であるインドでも時代と共に仏教が衰退してしまったという過去があります。そこから学べることは、どんなに素晴らしい教えであっても、それを伝える人がいなければ途絶えてしまうということ。すなわち、相承がいかに大切で、大変であるかということです。道元禪師が中国から日本に伝えた正伝の仏法も、民衆化していかなければ教えは広まらなかつたはずです。しかしその教えを下劣に落とさず、しつかりと法を保ちながら民衆化するということは、並大抵のことではありません。そのような難題を解決できたのが瑩山禪師以外にいたのでしょうか。

そして、両大本山は「此れあれば彼有り、此れ無ければ彼なし、此れ生ずれば彼生じ、此れ滅すれば彼滅つす」という縁起の法に基づいてみれば、大本山永平寺あつての大本山總持寺、大本山總持寺あつての大本山永平寺であると、両大本山が手を携えていくことの重要性を語られました。

兩祖様が後世に託した思いを私たち一人ひとりが受け止め、それと向き合つて更なる参禅弁道に努めなければと意識させられる、貴重な講義となりました。



第四十七回 曹洞宗青年会東北地方集会

「宮城大会」



・令和四年十一月二十六日（土）、宮城県マルホンまきあーとテラスを会場に第四十七回曹洞宗青年会東北地方集会「宮城大会」が開催されました。

ここ数年は新型コロナウイルスによる感染対策のため、開催県の青年会員主体での大会開催となっていましたが、今大会では制限は有つたものの、東北各県の曹青会員や一般の方々も参加されました。今大会のテーマは「伝心」であり、僧侶、大会参加者、何より東日本大震災で被災された方々が大切な人や御靈に心を伝えること、伝わることを願つたものです。

その中勤修された「東日本大震災復興祈願法要 大般若会」「東日本大震災十三回忌法要 歎佛会」では皆共に手を合わせ、物故者慰靈と復興への想いを新たにし、最後には鎮魂慰靈の花火が打ち上げられ、心が伝わることを参加者一同で願いました。



・『東日本大震災復興祈願法要 大般若会』



・令和四年十一月三十日（水）新規コロナウイルス感染拡大のため中止となつていた教区懇親会が三年ぶりに盛岡市 盛岡体育館一階アリーナを会場に開催されました。

本年度は第二教区青年会主催にて、消毒や定期的な換気などの感染対策の上でフットサルが行われました。およそ三時間にわたり、二十八名の参会員がフットサルの上手い下手や、教区、年齢に関係なくチームとなり、共に汗を流しました。三年ぶりとなつた懇親会ですが、やはり普段顔を合わせる機会が無い会員同士が集まり、同じ時間を共にし、懇親を深める事の楽しさと重要性を再認すると共に、コロナ禍で体を動かす機会が減つている中でも定期的に運動をする事の大切さを痛感する一日となりました。

第二回 教養セミナー

於 盛岡市 久昌寺

【萬燈供養法要研修】

・令和五年二月十六日（木）盛岡市久昌寺様を会場に令和四年度第二回教養セミナーが萬燈供養法要研修として開催されました。

今回のセミナーでは、令和五年三月十日（金）の釜石市常楽寺様を会場に執り行われる「東日本大震災十三回忌 物故者慰靈萬燈供養法要」へ向けて、県内では馴染みの無い会員も多い法要である萬燈供養の理解を深める為に講義と法要の習儀が勤修されました。

当日はまず講義として、晴山布教部長による萬燈供養の起源・成り立ちの説明が行われました。

今日行われている萬燈供養会は、本尊釈迦牟尼仏・三世諸仏・並びに各家先祖代々諸靈、有縁無縁の仏様に高燈を供養し、また萬燈を燃やして衆罪を滅除し、きれいな身心となり無病無息災・家門繁栄・子孫長久・万難消除・所願成就・世界平和を祈念するものであります。法要として總本山金剛峯寺（高野山真言宗）大本山東大寺（華嚴宗）大本山總持寺など各宗派にて修行され、宗門においては、東北地方（山形・宮城）などで盛んに行われている供養会の他、寺院の境内地を燈明や提燈などで莊厳し、参道を「仏の通り道」として照らすことで供養する、愛知県刈谷市・万燈祭り群馬県太田市・萬燈祭りなどのように弔いと祭りが融合した形式で行われているものもあるそうです。その後、上館事務局長による映像を見ながらの法要解説が行われました。

講義終了後、久昌寺様の法堂へ移動し、盛岡一九会様のご協力のもと、三月の法要で配役が当たつている会員を中心に行われました。時間ほどの習儀が終了し解散となつた後も、法堂にはその場に残つて各々の法要の動きを熱心に確認し、練磨する会員達の姿がありました。来たる三月十日の「東日本大震災十三回忌が研鑽を深める非常に有意義な一日となりました。

・盛岡一九会様と共に、入念に行われた習儀。



・習儀の後も熱心に打合せをする会員達。

教区たより

一教区

四月三十日 清養院様に於いて晋山並びに本葬法要が執り行われました。

六月五日 喜雲寺様に於いて晋山並びに本葬法要が執り行われました。

六月十四日 鷺蓮寺様に於いて晋山結制並びに落慶法要が執り行われました。

八月二十六日 長松寺様に於いて晋山結制並びに本葬法要が執り行われました。

新会員として、大松院徒弟 上田大象師が入会されました。

第一教区の報告とさせていただきます。

いち早い新型コロナウイルスの終息を願い、

二教区

六月一日付けで蟠龍寺 中野英崇師が住職になりました。

十一月十一日・十二日 長岩寺様に於いて、石嶺盛久大和尚本葬法要が執り行われました。

その他予定されておりました諸行事は、新型感染症対策の為、中止または延期となりました。一刻も早い新型コロナウイルスの終息を願っております。

第五教区では今年度も、新型コロナウイルスの関係で教区行事が中止、または内献となりました。

三教区

五月十一日 凤林寺様に於いて舜山静隆大和尚本葬法要並びに大祥忌法要が執り行われました。

五月二十六日 廣全寺様に於いて落慶法要が執り行されました。

九月二十九日 地藏寺様に於いて両祖忌法要が執り行されました。

令和五年一月二十九日 龍岩寺東堂 岩館泰道老師が御遷化されました。

来年度の行事予定といたしましては、

九月に聖福院様に於いて両祖忌法要

十一月に龍岩寺様に於いて本葬法要を予定しております。

四教区

二月二日 寶昌寺住職 長岡孝温老師が御遷化されました。

三月十九日 福藏寺様に於いて両祖忌法要が執り行されました。

四月二十三日・二十四日 永昌寺様に於いて晋山結制法要が執り行われました。

十月一日 浄光寺様に於いて結制法要が執り行されました。

十月十三日 常泉寺様に於いて両祖忌法要が執り行されました。

新型コロナウイルスのいち早い終息を願つて

おります。

五教区

六月一日 龍雲寺様に於いて須藤昭見老師が御遷化されました。

十二月十一日 廣德寺東堂 鈴木道隆老師が御遷化されました。

十二月十四日 正重寺副住職 菊池泰伸師が御遷化されました。

十二月二十五・二十六日 東安寺様に於いて、晋山結制法要が執り行されました。

七月六日・七日 常川寺様に於いて相澤達也老師の本葬法要が執り行されました。

新会員として、東安寺副住今野秀平師が入会されました。今後も活動を期待しております。

六教区

三月二十七日 龍德寺様に於いて二十七世大和尚本葬法要並びに大祥忌法要が執り行されました。

五月二十六日 廣全寺様に於いて落慶法要が執り行されました。

九月二十九日 地藏寺様に於いて両祖忌法要が執り行されました。

令和五年一月二十九日 龍岩寺東堂 岩

第六教区では昨年度から教区の若手僧侶達が中心に集い、法要の進退慣らしや声明練習など制法要が執り行されました。

九月二十九日 盛興院住職十八世天叟憲雄大和尚が御遷化されました。

第九教区では、地域の各種活動が少しずつ復活し、少なくなつておらず、お檀家様との交流が増してきました。また、教区活動としましては、永昌寺住職 海野義範老師を講師に迎え、各寺院のお檀家様と共にセミナーを開講させていただきました。ご参加された方全員が義範老師のお話を耳を傾け、また椅子坐禅も行い、仏教への理解もさらに深まつたのではないかと思います。

令和五年には大震災の十三回忌の年を迎えることになります。沿岸教区として各寺院でも法要等が行われますが、まだコロナ禍の収束は見えてはきません。大切な人を失つてしまつた方々の心に寄り添えるよう、各会員がコロナ禍以前のように行じる日が少しでも早く来るこ

七教区

第七教区では、新型コロナウイルスの影響で、教区のすべての行事は昨年同様、中止又は内献となりました。

令和五年度の予定としましては、五月三日(祝)三月十九日 福藏寺様に於いて両祖忌法要が執り行されました。

五月二十三日・二十四日 永昌寺様に於いて晋山結制法要が執り行われます。また、秋には

一関市花泉町 長禅寺様にて本堂落慶法要が予定されています。

七月八日・九日、西来院様に於いて本葬法要を行います。

予定しております。

八教区

三月六日・七日 龍雲寺様に於いて須藤昭見老師の本葬法要が執り行されました。

六月二十五・二十六日 東安寺様に於いて、晋山結制法要が執り行されました。

七月六日・七日 常川寺様に於いて相澤達也老師の本葬法要が執り行されました。

新会員として、東安寺副住今野秀平師が入会されました。今後も活動を期待しております。

九教区

令和四年三月九日 妙相寺住職 伊藤春雄老師がご遷化されました。

令和四年五月十一日・十二日 東長寺様に於いて晋山結制法要が執り行されました。

令和四年五月十一日・十二日 東長寺様に於いて晋山結制法要が執り行されました。

令和四年五月十一日・十二日 東長寺様に於いて晋山結制法要が執り行されました。

令和五年には大震災の十三回忌の年を迎えることになります。沿岸教区として各寺院でも法要等が行われますが、まだコロナ禍の収束は見えてはきません。大切な人を失つてしまつた方々の心に寄り添えるよう、各会員がコロナ

状況を鑑み中止となりました。そのような中、正法寺様のご厚意により、九月二十九日に正法寺様で行われた両祖忌へ随喜させていただき、大変貴重な経験を積ませていただきました。

今年度も、このコロナ禍で自分達に何ができるかを常に考え邁進してまいります。

六月二十一日 石応禪寺様に於いて先住忌法要が執り行われました。

六月二十九日 大慈寺様に於いて菊池章道老師が御遷化されました。

七月八日・九日 対泉院住職 細川善厚老師が御遷化されました。

七月八日・九日、西来院様に於いて本葬法要を行います。

予定しております。

十教区

六月二十一日 石応禪寺様に於いて先住忌法要が執り行われました。

六月二十九日 曹源寺様に於いて本葬・落慶法要が執り行われました。

七月八日・九日 大慈寺様に於いて歳末助け合い寒風托鉢が三年ぶりに執り行われました。

七月八日・九日 対泉院住職 細川善厚老師が御遷化されました。

七月八日・九日、西来院様に於いて本葬法要を行います。

予定しております。

発行者 岩手県曹洞宗青年会 海野 朋孝
発行所 岩曹青事務局 盛岡市名須川町7-2(龍谷寺内)
TEL 019-622-8144
FAX 019-625-3611
題字／ 宗務所長 藤原 育夫
編集／ 事業部



岩曹青ホームページ
QRコード